

令和6年度の教育活動等に対する学校評価書

令和7年2月14日

学校法人大石寺学園上野幼稚園長 吉野 友勝

学校法人大石寺学園上野幼稚園学校関係者評価委員長 前林 隆宏

1 幼稚園の教育目標

上野幼稚園は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、幼児を保育し、適当な環境を与えて宗教情操の涵養と健全な心身の発達を助長することを目的とする。

本園ではめざす幼児像として

「健やかな体と豊かな心を育てる」ことを目指し、具体的に次の5項目を掲げる

1. 丈夫な体を持つ子どもに
2. 感謝の心、思いやりのあるやさしい心を持つ子どもに
3. 豊かな自己表現ができる、創造性を持つ子どもに
4. 頑張る心、辛抱強い心を持つ子どもに
5. よく聞き、よく見、よく考えることができる子どもに

2 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

(※評価点は、A（十分に成果があった）・B（成果があった）・C（少し成果があった）、D（成果がなかった）の段階で表すこと。)

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
・教育計画は、子どもの実態を的確につかみ、幼児の発達に即した指導が工夫され、具体的な手立てが講じられている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の記録・反省を参考に子どもの様子を観察し、安全対策を含めて計画できた。 ・初めての学年で、成長過程をよりよく知ることができ計画に具体的に生かした。 	A	教育計画そのものは見ていないが、研究保育やその指導案、子どもの活動から目的としているものがある。
・園がめざす幼児の姿を具体的にイメージできる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園が大事にしている基本が育っている。保育のねらいが意識されている。 	A	教室・園児の様子、行事ごとの先生方の話、おたよりからイメージできる。
・子どもの良さを認めて評価しようとしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の良さに焦点を当てている。他の先生からも子どもの良いところを紹介してもらっている。 ・否定文より肯定文で多くを語るを基本にしている。 	A	保育活動・園内の雰囲気から感じられる。
・遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。また、遊びを通しての総合的な指導ができています。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの遊びから、それ以上のものへの発展が難しい。自分のレパートリーも少ないと思う。 ・多人数の遊びを多くし、協力や勝負の意味を学ぶ場にしたが、もう少し多くできたら良い。 	B	一般的に与えられた遊びに慣れている園児が多い。遊びを考えたり、ルールを変えて、みんなで遊ぶことが少ないように感じる。
・規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小さいことでも声掛けをし定着できるよう心掛けている。 ・園でどんなに意識しても、個のしつけをする家庭の意識と協力が不可欠。どのように伝えるかが課題。 	A	個のしつけの成果は充分と思われる。様々な場での挨拶がしっかりできている。

・全職員が年に1回以上公開保育を参観し、研修する。	A	・新しい刺激・発見があり大変有意義。 ・他の先生のアイディアも知ることができ、学ぶことが多い。	A	事前準備・教育の進め方が素晴らしい。それをメモをとる姿に感服しました。
・各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	A	・学んだことをまとめ職員会議で報告しあうので、深まりがあり、有意義。	A	
・一人一人の幼児をよく観察するように心がけている。	A	・人数が減少しているので、これまで以上に細やかな観察・指導ができています。	A	素晴らしいことで、その様子を、日常的に感じ取れる。
・教員間の協力的な指導ができています。	A	・少人数なので、多くの先生で見守り、細かなところまで観察ができお互いの情報交換や相談しやすい環境。	A	クラス・学年を越えた園全体での教育環境がある。
・保護者の実情や要望による預かり保育ができています。	A	・希望通りにできている。 ・要望も少ない。	A	安心して任せているように思います。
・月のよていや学年だよりの発行など、情報を発信している。 ・情報発信手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫をしている。	A	・それぞれのこれまでのお便り・ホームページに加えInstagramを開設したのでより多くの情報発信ができています。	A	ホームページから月の予定など必要な事を知ることができ、各種おたよりが読みやすく興味がわく。
・季節の行事や遠足、保育参観の実施状況は、より活発な取り組みになっているか。	A	・園児数の減少にともない様々な工夫・変更が行われ、それなりに充実した楽しいものになっているが、常に見直し・変更が必要。	A	大人が忘れていたような季節の歌や行事が大切にされており、日本の四季・伝統を学ぶ基礎がある。